

お知らせ

平成25年11月 8日

資料提供先 三次記者クラブ

「平成25年度地震津波対策訓練」 を実施します。

国土交通省中国地方整備局では、大規模地震に対するため、地震及び津波発生時の初動体制確立に向けた行動の確認、及び中国地方整備局災害対策本部、災害対策支部を設置し、発災から災害応急対策・復旧方針を決定する局面までの、災害状況の迅速かつ正確な把握・伝達及び的確な指揮・対策等の訓練を実施し、職員の防災対策能力の向上を目的として、地震津波対策訓練を実施します。

三次河川国道事務所では、大規模地震発生に伴う、初動対応訓練及び情報伝達訓練並びに応急復旧対策等の訓練を実施します。

記

・訓練日時 平成25年11月13日(水) 8:00~14:00

問い合わせ先：国土交通省三次河川国道事務所

副所長（公園） 大池 勝則

副所長（河川） 梅田 敏之

副所長（道路） 新宅 清人

【広報担当】建設専門官 中井 喜美男

TEL：（0824）63-4121

FAX：（0824）64-2240

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

平成25年度 地震津波対策訓練の実施について

◆ 訓練の目的

この訓練は、大規模地震発生時に、迅速かつ的確な災害対策業務を遂行することにより、**二次災害・被害拡大の防止、円滑な復旧・復興に資するとともに、ひいては国民の安全、生命及び財産を保全すること**を目的とし、実施するものです。

◆ 訓練の概要

大規模地震時に対応するため、地震発生時の初動体制の確立、江の川・馬洗川・西城川・神野瀬川、灰塚ダム、国道 54 号、中国横断自動車道尾道松江線、国営備北丘陵公園の被災状況の迅速かつ的確な把握・伝達及び災害復旧に向けた的確な指揮・対策のほか、三次市・安芸高田市・庄原市等の被災状況の情報収集の訓練を実施し、職員の防災対策能力の向上を図るとともに防災体制の再確認を行うものです。

特に今回の訓練では、以下をポイントとして行います。

● 訓練のポイント ●

- ① 安否確認システムを活用した安否確認訓練及び非常参集訓練
- ② 発災直後の被災情報の収集・伝達の訓練(30分ルール)
- ③ 所管施設の点検及び被災状況等の把握・報告
- ④ 被災箇所の応急復旧対策の訓練
- ⑤ 三次市・安芸高田市・庄原市への支援に関する体制確認(リエゾン^{※1}の派遣)訓練
- ⑥ 災害応急対策業務に関する協定締結業者及び防災エキスパート^{※2}への要請訓練【机上訓練】

※1:リエゾン(現地情報連絡員)とは、Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語。災害時の情報交換に関する協定においては、自治体に派遣される国土交通省の職員を指します。

※2:防災エキスパートとは、地震、風水害などの大規模災害時を想定し、これまで公共土木施設の整備、管理等に長年携わり、一定のノウハウを持った人たちに、被災した公共土木施設等のスピーディーな被害情報の収集など、ボランティアとして災害復旧事業に関する支援の協力をしていただく人たちを指します。

◆ 訓練の想定

地震発生日時:平成25年11月13日(火) 8:00
地震名 :出雲市沖合、浜田市沖合地震の同時生起(訓練)
震源地 :出雲市沖合、浜田市沖合
管内の震度 :中国地方管内 震度6弱 ~ 震度4
三次河川国道事務所管内では、震度5弱を想定

三次河川国道事務所では、以下の被害を想定しております。

- ・ 国道54号の橋梁の損傷(全面通行止め)
- ・ 中国横断自動車道尾道松江線の口和ICで法面の安全確認
- ・ 中国横断自動車道尾道松江線の工事施工区間での盛土法面のクラック
- ・ 河川堤防の法面の崩壊、河川堤防天端のクラック
- ・ 公園内の上水道の破損及び建造物への被害

◆ 訓練の内容

- ①参集及び安否確認訓練
職員の緊急参集訓練及び安否確認訓練の実施
- ②所管施設の点検訓練
庁舎、堤防、水門、道路、橋梁、ダム、公園等の施設点検を実施
- ③所管施設の被災状況把握・伝達・早期復旧対策に向けた訓練
被災状況把握、情報伝達、応急復旧対策工法の立案の訓練
- ④地方自治体への支援体制の訓練
三次市、安芸高田市、庄原市へのリエゾン(現地情報連絡員)派遣
【三次市と庄原市は机上訓練、安芸高田市へは実地訓練】

◆ 主な訓練のスケジュール(案)

8:00~ 8:30頃 参集及び安否確認訓練
8:30頃~14:00 所管施設点検、被災状況把握・伝達・早期復旧対策訓練
9:00頃~ リエゾン(現地情報連絡員)派遣訓練【机上・実地】
※当日の状況により時間が若干前後する場合があります。

◆ 訓練の場所

三次河川国道事務所 4階 災害対策室

◆ その他

訓練の当日、降雨等により訓練内容の変更や防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止又は延期する場合があります。

訓練状況イメージ（昨年度の訓練状況）

災害対策室の状況

